シラバス参照

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT4604		
科目名	ゼミナールⅣ		
担当教員	大八木　時広		
対象学年	4年	開講学期	後期
曜日・時限	火５		
講義室	1311	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 ＤＰ１－E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 ＤＰ４－F [探求力・課題解決力] 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ＤＰ５－Ｊ [創造的挑戦力・達成力] コンピテンスの開発を障害にわたり継続しておこぬことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを核心的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ＤＰ６－K [表現力・対話力] 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ＤＰ７－L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を高めることができる。 ＤＰ８－M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ＣＲコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CR)との関連 E1　学識・専門技能-20% F1　探求力-10% F2　課題解決-10% J1　継続的学修基盤-10% J2　創造的思考-10% K1　ライティング・コミュニケーション-10% K2　オーラル・コミュニケーション-10% L1　チームワーク-10% M1　統合的・応用的学修-10%		
教員の実務経験	特になし		
成績ターゲット区分	■ 能力開発の目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養います。ここでは、個人研究を卒業論文として執筆し、完成させるまでの総合的なプロセスを指導します。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替		

	するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■ キーワード 卒業論文執筆、社会的問題意識、研究手法
授業の趣旨	■副題 卒論テーマのリサーチと分析を深め、論文としてまとめる。 ■授業の目的 前期ゼミナールでの研究報告を受けて、リサーチと分析をさらに進めていき、自分なりの結論を出して論文の形にまとめていく。 ■授業のポイント 文献・資料の検索・収集と、より深い読解と分析。
総合到達目標	■ 個人研究のテーマを文章の形で論理的に構成することができる。 ・論理的な文章を書くことができる。(第2～15回) ・個人研究のテーマを論理的に構成することができる。(第2～15回) ・個人研究のテーマを論理的な文章として書くことができる。(第2～15回) ■ 個人研究のテーマを卒業論文の形で執筆することができる。 ・論文形式で文章を書くことができる。(第2～15回) ・自分で選んだ研究テーマを文章として表現することができる。(第2～15回) ・個人研究の結果を卒業論文の形式で書くことができる。(第2～15回)
成績評価方法	■ レポート2回(50%)：適用ルーブリック E1・F1・F2・J1・J2・K1・L1・M1 (評価の観点) 授業の内容を踏まえて、知識が身に着いているか、テーマに関して論理立てて明確に自分の考えを示せるかについて評価します。 (フィードバック) 解説は後日、クラスルームで配布します。 ■ 卒業論文作成(50%) 適用ルーブリック：E1・F1・F2・J1・J2・K1・M1 (評価の観点) これまでの研究発表を踏まえて、論理的かつ実証的な論考がなされているかについて評価します。 (フィードバック) 卒業論文に関して、担当教員による評価コメントをゼミ生本人に配布します。
履修条件	ゼミナールⅠ～Ⅲを履修し、単位を取得していることが条件です。
履修上の注意点	特にありません。

授業内容

回	内容
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒論に関する説明。個人研究のプレゼンに関する説明 (E1,F1,F2,J1,J2,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(120分) 個人研究の計画(書)を作成しておく。 ④復習(120分) ガイダンスを受けて、個人研究の計画書の修正。
2	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
3	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
4	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆

	②授業概要 　ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 　発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 　発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
5	①授業テーマ 　卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 　ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 　発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 　発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
6	①授業テーマ 　卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 　ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 　発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 　発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
7	①授業テーマ 　卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 　ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 　発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 　発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
8	①授業テーマ 　卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 　ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 　発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 　発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
9	①授業テーマ 　卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 　ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 　発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 　発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
10	①授業テーマ 　卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要

		ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
	11	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
	12	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
	13	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
	14	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表と卒論執筆 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,M1)、討論(K2,J2,L1)を行い、論文執筆を継続する(K1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。また卒論執筆を継続する。
	15	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表振り返り ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のプレゼンとゼミナールの振り返り(E1,F1,F2,J1,J2,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(120分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(120分) 卒論執筆に関する論点の最終点検とゼミナール活動の振り返り。卒論執筆の仕上げ(全員)。
関連科目	ゼミナールⅠ(RMGT4601)、ゼミナールⅡ(RMGT4602)、ゼミナールⅢ(RMGT4603)、政治	

	学1(RMGT1139)、国際政治学(RMGT3552)、国際法(RMGT3451)、外交史(RMGT3556)
教科書	特にありません。
参考書・参考ＵＲＬ	個人研究に必要な参考文献は、適時紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■ 連絡先　開講時に告知します。 ■ オフィスアワー　火曜日3限。アポイントを取って下さい。
研究比率	■ 危機管理領域との対応 グローバルセキュリティー50%：パブリックセキュリティー30%：災害マネジメント10%：情報セキュリティー10% ■ 危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.